

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～なぜ？「時間を守る」ことにこだわるのか～

「時間を守りなさい」「挨拶しなさい」「整理整頓しなさい」「モノを大切に」・・・小さなことかもしれませんが、幼い頃から、おじいちゃん、おばあちゃんに、おとうさん、おかあさんに、保育園の先生に、幼稚園の先生に、小学校の先生に、中学校の先生に言われ続けてきたことですね。

これってタイトルの「不易」なものです。人間の長い歴史の中で、伝え続けられてきたことで、時代が変わっても変わらない大切なもの。祖父母から親から先生から子どもたちに伝え続けられています。

しかし、大きくなるにつれて、できることや上手くなることは多くなっていくのに・・・幼い頃は大きな声で、笑顔で、元気よくできていた「挨拶」は、成長するにつれて下手になっていくことが多いです。「なぜ？」って思いませんか？それはね・・・「挨拶の仕方」だけしか習ってない、知らないからです。

「挨拶の大切さや重要さ」といった「挨拶の心」を習っていれば、理解していれば、挨拶はしっかり**笑顔で、大きな声で、自分から**できるはずなんです。2・3年生には昨年度の3学期の終業式で、1年生にはオリエンテーション合宿前に緑創館で話しましたね。覚えてくれていますか？

さて、「なぜ？親は、学校は、先生は、社会は、時間を守ることにこだわるのか」について、今回そのヒントを伝えましょう。では・・・

40年間増収増益。奇跡ともいえる会社があります。
業界ナンバーワンの利益率を誇る、お菓子のデパート「吉寿屋」(よしや)さんです。
年収3000万円プレイヤーの社員がいて、
年収1000万円のパートさんまでいるそうです。

さて、その高収益のヒミツは？
会長の神吉武司さんは一番の要因に「早起き」をあげ、
「朝6時出社を300年先まで継続する」と宣言されています。

確かに、「早起きの会社に不況なし」と言われます。
東京商工リサーチの調査によると、始業時間が8時、9時だとしても、
会社の代表者が朝の7時までに出社している会社の倒産は、なんと・・・**ゼロ**だそうです。

倒産確率0パーセント！

「みなさんもだまされたと思って、いっぺん早起きしてみてください。続けていけば、業績は必ず良くなります」。

神吉会長はそう語っています。
イエローハットの鍵山秀三郎相談役(「日本を美しくする会・掃除に学ぶ会」の創唱者)、ユニクロの柳井正社長、楽天の三木谷浩史社長など、習慣化の中で「早起き」を習慣化できるくらいにセルフマネジメントがしっかりしている早起きの経営者はとても多いのです。

もうひとつ、神吉会長の言葉をプレゼントしましょう。

神吉会長が、社員によく伝えている言葉です。

「大きなことをしようと思っても、私にも、君うにもできない。

君たちは日常の小さいように見えて、大切なことをやってくれたほうがありがたい。

それこそが会社にとって重要なことなのだから」

ひすい ことろう さんのブログより引用



日常の小さいように見えるもの、それは・・・幼い時から教えてもらっていることです・・・
そう！挨拶や掃除、笑顔、そして・・・時間を守る・・・などです。

そうした一見小さなものこそが最も大切なのです。

実は・・・校長先生、事務長先生は、朝7時には学校に来られています。ということは・・・
県立伊丹が企業なら・・・倒産確率は0%ですわ！・・・

「朝のわずかな時間は、午後の数万時間に匹敵する」(西洋の格言)

「よし！明日は・・・いつもより・・・10分早く家を出て、10分早く登校しよう。」って決めちゃいませんか？